

羽鳥湖

はとりこ

周囲16km、最大水深31.2m、

総貯水量278万m³の人工湖。水不

足に悩む矢吹ヶ原一帯のかんがい

用及び発電用として、昭和31年に

完成。鶴沼川をせき止め、約15年

の歳月をかけて造られました。以

来、村を代表する豊かな自然のシ

ンボルとして親しまれています。

「羽鳥湖」の名前の由来は、ダムを

造るにあたってダムの底に沈んだ

羽鳥集落からつけられています。

現在では、湖周辺はサイクリングロードやオートキャンプ場など

が次々と整備され、リゾートエリアとして、注目を集めてい

る観光スポットの一つです。



鶴沼川

つるぬまがわ

県道白河・羽鳥線、天栄村と西

郷村との村境に「鶴沼」という沼

があります。鶴沼川由来の沼です。

鶴沼川は、大川（阿賀川）、阿賀

野川を経て、新潟県側の日本海に

注ぎます。

この川の上流にあたる羽鳥湖周

辺から、流れは西へ西へと向かい、

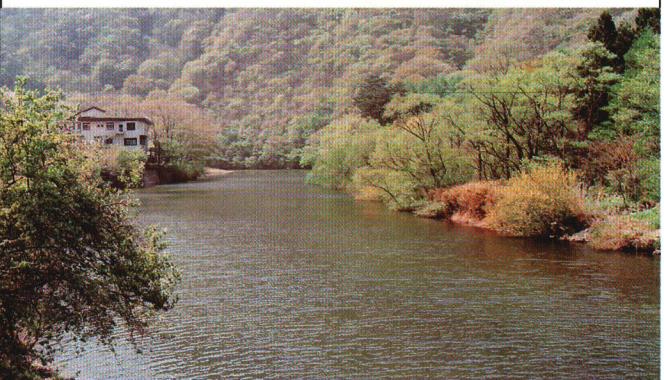
岩瀬湯本温泉を通過して大川に合

流し、会津盆地へと流れます。

湯本温泉の付近の流域には東北

電力鶴沼川発電所ダムも。

澄んだ水にはイワナやヤマメなどの代表的な川魚も多く、四季折々の自然とともにフィッシュマンの姿を見かけます。



福島県を南北に流れる阿武隈川の支流。竜生ダムの上流に源を発する流れは、途中、国道294号と平行して東へ向かい、沖内地区で竜田川と合流、さらに須賀川市に入り、阿武隈川に合流します。

通称「廣戸川（ひろとがわ）」とも呼ばれ、昔から地域の人々の暮らしに深く関わり、親しまれてきました。村に古くから伝わる河童の物語りも、ここ釈迦堂川が舞台になっています。沖内地区の川沿いには、物語りにちなんで、河童の像が愛嬌たっぷりにたたずんでいます。

釈迦堂川

しゃかどうがわ

